

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite L400W
ProLite L320W

重要



ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語



警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI (電波障害自主規制)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

日本語

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のモニタの点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- キャビネットが異常に熱い。
- 煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- 使用中に異常な音や振動などがある。
- その他の異常や故障がある。



ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用前に	5
特長	5
標準付属品	5
スタンドの取り付け	6
各部のなまえ	7
リモコンの準備	8
コンピュータとの接続	9
コンピュータの設定	10
基本操作	11
操作手順	13
調整メニューの内容	14
画面の調整	22
パワーマネージメント機能	24
故障かなと思ったら	25
クリーニング	26
アフターサービス	27
保証書/保証期間について	27
修理サービス	27
オプション部品	27
リサイクル/廃棄について	27
付録A	28
一般仕様	28
外形寸法図	29
対応信号タイミング	29
信号入力コネクタのピン配列	30
RS-232Cインターフェイス	31
付録B	31

安全にご使用いただくために

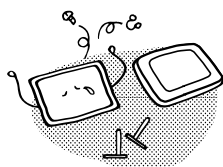
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

警告



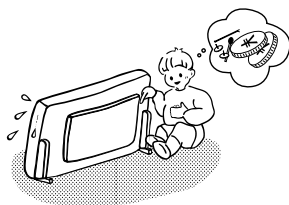
万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音ができるなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



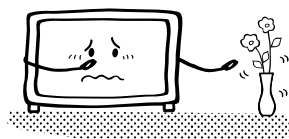
キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店またはイヤマサービスセンターにご依頼ください。



異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。



花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。



警告



不安定な場所に置かない



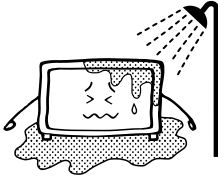
禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



プラグを抜く

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

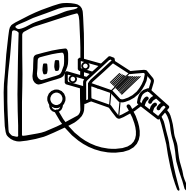


水のある場所で使わない



水場での使用禁止

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



電源コードのアースリードを接地する



アースを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

細井



電源コードを傷つけない



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。



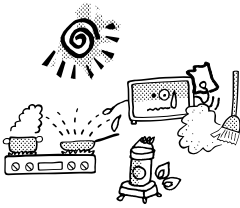
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

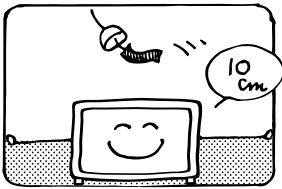
⚠ 注意



置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く

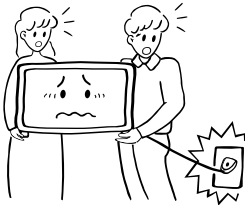


通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

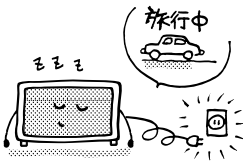
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。また、モニタは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

⚠ 注意



禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源スイッチのONとOFFを繰り返さないで

故障の原因となります。



接触禁止

正しくご使用いただくために

目を大切に

使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善していきますが、改善されないまま前の画面パターンが固定されてしまう可能性もあります。ご使用の際には十分ご注意ください。
 - ・画面の表示パターンを変える。
 - ・数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

ProLite L320W-B: モニタ天面は使用中熱くなりますのでご注意ください。

特長

- ◆ ProLite L400W-B1X: 39.6インチワイドTFTカラー液晶モニター
ProLite L320W-B: 32インチワイドTFTカラー液晶モニター
- ◆ 最大1280×1024モード（ダウンスケール）をサポート
- ◆ 超広視野角高コントラストパネル採用
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能搭載
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応
Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
- ◆ 省電力設計
パワーマネージメント機能搭載
- ◆ 鮮明な画像を実現するデジタル入力対応

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のもが全て含まれていることをご確認ください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ■ 電源コード* | ■ D-SUB信号ケーブル MB37 |
| ■ DVI-D信号ケーブル DV66 | ■ RS-232Cケーブル SR51 |
| ■ スタンド 2個 | ■ スタンド取り付けネジ 4個 |
| ■ リモコン | ■ 単3形乾電池 2個 |
| ■ 取扱説明書/保証書（本書） | |

補足 * 次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

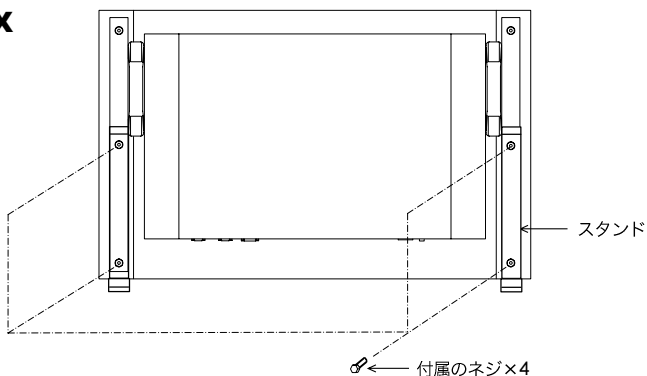
- 付属以外の電源コードをお使いになる場合
- 日本以外の国でお使いになる場合サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

スタンドの取り付け

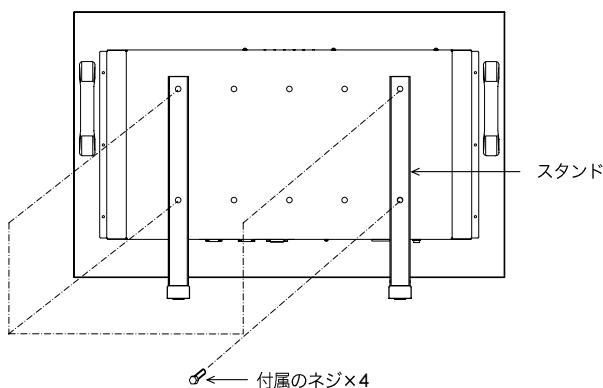
- 注意**
- モニタは重いので、2人以上で作業を行ってください。
 - スタンドの取り付けは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。
 - モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
 - スタンドの取り付けを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

下図の様にスタンドを取り付け、
付属のネジで固定します。

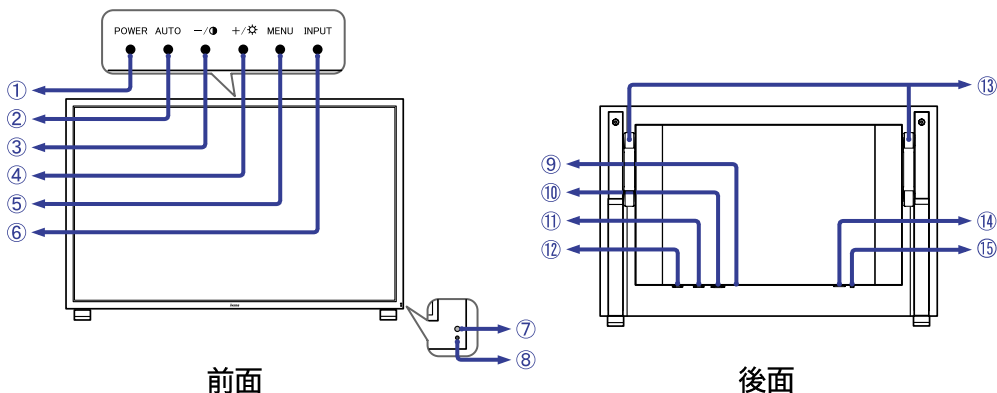
ProLite L400W-B1X



ProLite L320W-B



各部のなまえ



① 電源スイッチ (POWER)

② AUTOボタン (AUTO)

クロック、フェーズ、水平ポジション、垂直ポジションの4項目を自動で調整します。

補足 ■ この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。

(P.22「画面の調整」参照)

■ 調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。(約5秒)

③ マイナス/コントラスト調整ボタン (- / ●)

④ プラス/ブライトネス調整ボタン (+ / ☀)

⑤ MENUボタン (MENU)

⑥ INPUTボタン (INPUT)

⑦ リモコン受光部

⑧ 電源インジケータ

補足 青色点灯 : 通常動作時

橙色点灯 : パワーマネジメント時

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネジメントモードになります。

⑨ オプションビデオアダプタスロット

⑩ DVI-D24ピンコネクタ (DVI)

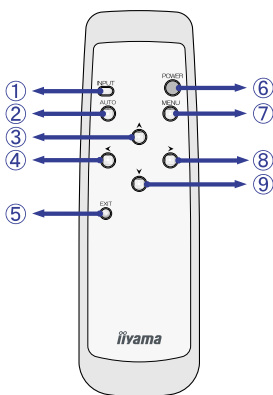
⑪ D-SUBミニ15ピンコネクタ (D-SUB)

⑫ RS-232Cコネクタ (RS-232C)

⑬ 取手

⑭ 電源コード接続コネクタ (AC IN)

⑮ 主電源スイッチ (POWER)



リモコン

- ① INPUTボタン (INPUT)
- ② AUTOボタン (AUTO)
クロック、フェーズ、水平ポジション、垂直ポジションの4項目を自動で調整します。

補足

- この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。(P.22「画面の調整」参照)
- 調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。(約5秒)

- ③ ZOOMプラス 調整ボタン (▲)
- ④ マイナスボタン/コントラスト調整ボタン (◀)
- ⑤ EXITボタン (EXIT)
- ⑥ 電源スイッチ (POWER)
- ⑦ MENUボタン (MENU)
- ⑧ プラスボタン/ブライツ調整ボタン (▶)
- ⑨ ZOOMマイナス調整ボタン (▼)

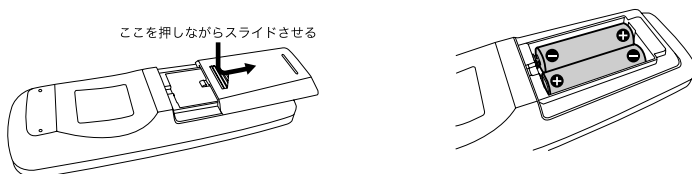
リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れ、使えるようにします。



注意 リモコンに指定以外の電池や、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。また、リモコンに電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナス)に従って正しく入れてください。電池が破裂したり液もれすることにより、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。

- ① リモコン裏面の電池ケースのふたを、右図のようにスライドして開きます。
- ② 乾電池のプラス/マイナス方向を間違えないように入れます。
- ③ 電池ケースのふたをスライドして閉めます。



補足

- リモコンをモニタの近くで操作しても動作しなくなったら、電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。使用電池は単3形乾電池です。
- リモコンはモニタ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 市販のリモコンは使用できません。必ず付属のリモコンをご使用ください。

コンピュータとの接続

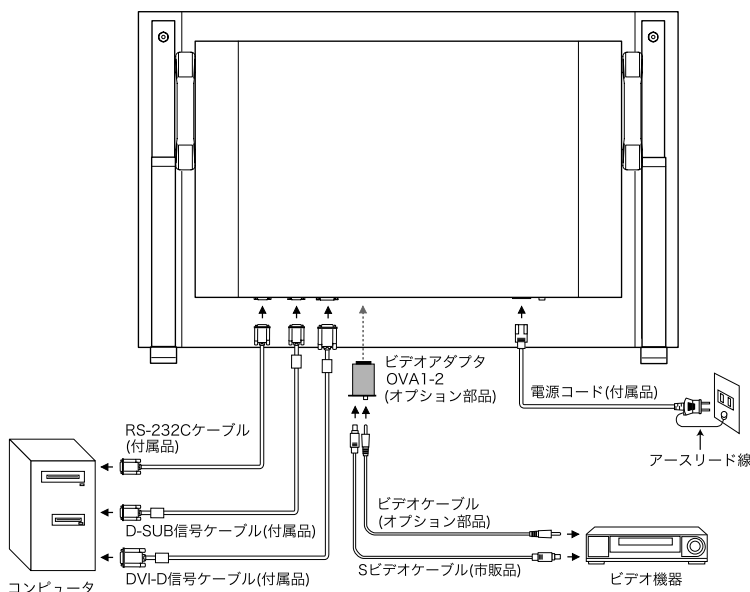
警告 ■ 安全のため、必ずアースリード（黄/黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

注意 ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.30「信号入力コネクタのピン配列」参照)
補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。
- ③ RS-232Cコントロール機能を使用する場合は、RS-232Cケーブルをコンピュータに接続します。(P.30「信号入力コネクタのピン配列」参照)
- ④ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。

[接続例]



接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機 (DOS/V) IBM	D-SUB ミニ15ピン	D-SUB信号ケーブルMB37 (付属品)		D-SUB ミニ15ピン
NEC PC98		変換アダプタPC98 パーツNo.242Z020-01	D-SUB信号ケーブル MB37 (付属品)	
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタMAC パーツNo.T985V003-30	D-SUB信号ケーブル MB37 (付属品)	
Macintosh*1	D-SUB 15ピン	DVI-D信号ケーブル*2 DV66 (付属品)		
AT互換機 (DOS/V) IBM	DVI-D 24ピン または DVI-I 29ピン	DVI-D信号ケーブル*2 DV66 (付属品)		DVI-D 24ピン
Macintosh				
ビデオアダプタ ビデオ入力が可能になります。 OVA1-2				

補足 *1 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

*2 デジタル信号のみ対応可能なケーブルです。

コンピュータの設定

■ 信号タイミング

映ることを確認しながら、本製品がサポートしているお好みの解像度（P.29「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XPプラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

補足

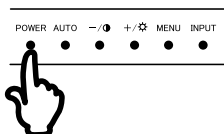
■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。

■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

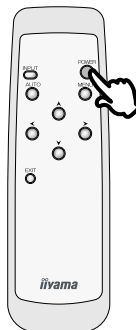
■ 電源を入れる

主電源スイッチをONにします。
この状態でモニタ本体のPOWERスイッチまたはリモコンの電源スイッチを押すと、モニタの電源がONになります。再度押すとOFFになります。

【モニタ本体】 POWERスイッチを押す。



【リモコン】 電源スイッチを押す。

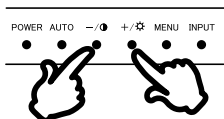


補足 パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

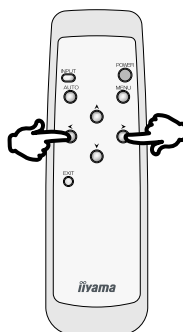
■ カーソルを左右に移動させる

画面にメニューページが表示されているときにモニタ本体の+/-ボタンまたはリモコンの</>ボタンを押すと、メニューや設定を選択したり、調整を行うことができます。

【モニタ本体】 +/-ボタンを押す。



【リモコン】 </> ボタンを押す。

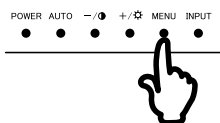


■ メニューページを表示させる

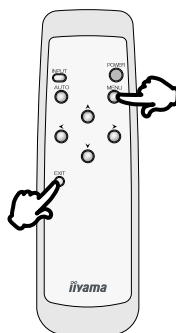
モニタ本体のMENUボタンまたはリモコンのMENUボタンを押すと画面にメニューページが表示されます。

リモコンのEXITボタンを押すと、メニューページが消えます。

【モニタ本体】 MENUボタンを押す。



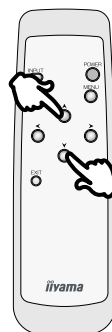
【リモコン】 MENUボタンを押す。



■ ズーム調整を表示させる

リモコンのZOOM ▲ / ▼ ボタンを押すと画面にズーム調整が表示されます。

【リモコン】 ZOOM ▲ / ▼ ボタンを押す。

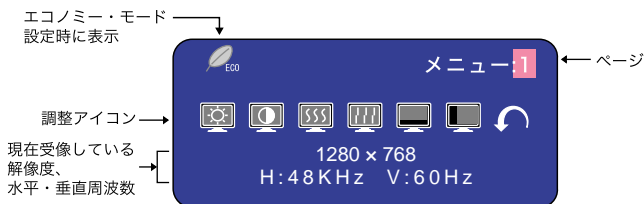


操作手順

P.29の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。


オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

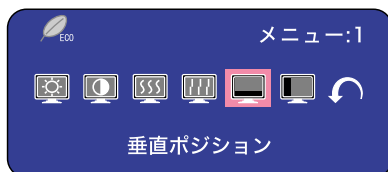
- ① MENUボタン（モニタ本体またはリモコン）を押すと、画面にメニューが表示されます。+ / -ボタン（モニタ本体）または < / > ボタン（リモコン）でページを送ります。



- ② 調整したいアイコンがあるメニュー画面（ページ）を表示し、MENUボタンを押します。カーソルがアイコンの列に移動するので、+ / -ボタンまたは < / > ボタンで調整するアイコンを選択します。

- ③ 再びMENUボタンを押し、+ / -ボタンまたは < / > ボタンを使って調整や設定を行っていきます。

例えば垂直ポジションを調整したいときは、まずメニュー：1のページを表示させ、MENUボタンを押します。次に+ / -ボタンまたは < / > ボタンで （垂直ポジション）を選択し、MENUボタンを押します。



調整画面が表示されますので、+ / -ボタンまたは < / > ボタンでお好みの画面に調整します。



- 補足**
- 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。
 - オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
 - クロック、フェーズ、ポジションの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については、全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- **ブライトネス：** メニュー画面を表示していない時に、ブライトネス調整ボタン（モニタ本体またはリモコン）を押します。
- **コントラスト：** メニュー画面を表示していない時に、コントラスト調整ボタン（モニタ本体またはリモコン）を押します。
- **入力信号切り替え：** INPUTボタン（モニタ本体またはリモコン）を押します。
- **自動調整：** AUTOボタン（モニタ本体またはリモコン）を押します。
- **ズーム：** メニュー画面を表示していない時に、ZOOMボタン（リモコン）を押します。

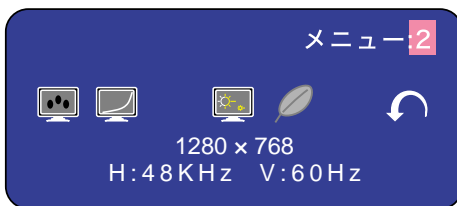
補足 **ブライトネス/コントラスト調整の切り替え**








































ダイレクト調整中、ブライトネス調整ボタンまたはコントラスト調整ボタンを押してから約5秒以内にMENUボタンを押すと、ブライトネスとコントラストの調整画面を交互に切り替えることができます。

入力信号切り替え (IN1 / IN2)

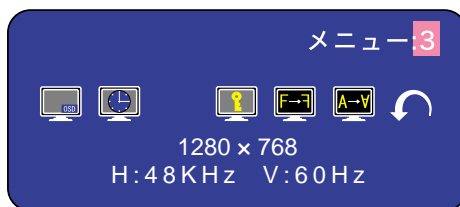
IN1とIN2の信号が同時に入力されている時、INPUTボタンを押すたびにIN1とIN2を交互に切り替えることができます。


















メニュー：2
(アナログ入力)



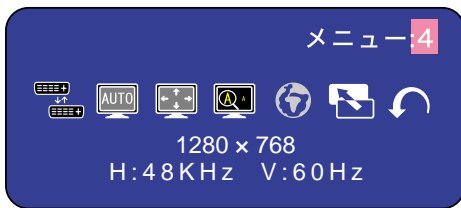
調整項目	画面の状態/調整ボタン				
 カラー調整 Color Temp.	9300K	やや青みがかったホワイト (約9300K)			
	6500K	やや赤みがかったホワイト (約6500K)			
	ユーザー	 MENU  <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>Red</td> <td rowspan="3"> 弱すぎる    または    強すぎる    </td> </tr> <tr> <td>Green</td> </tr> <tr> <td>Blue</td> </tr> </table>	Red	弱すぎる    または    強すぎる   	Green
Red	弱すぎる    または    強すぎる   				
Green					
Blue					
 ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル			
	ハイコント	ハイコントラスト			
	ダーク	ダーク			
 シャープネス Sharpness	1 2 3 4 5     				
	1~5 (ソフト→シャープ) まで設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。				
 エコノミー・モード Economy Mode	オフ	ノーマル画面			
	モード1	バックライトの明るさ約10%ダウン			
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン			
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：2に戻ります				

メニュー：3
(アナログ入力)



調整項目	画面の状態／調整ボタン	
 OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5   または   または  1~5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。 	
 OSDオフタイマー OSD Off Timer	3~60秒までのOSDのオフタイマーを設定します   または   または 	
 キーロックモード Key Lock Mode	オフ	メニュー画面に戻ります
	オン	すべての調整をロックします
補足 キーロックモードをオンすると解除できません。解除が必要な場合はサービスマンにお問い合わせください。		
 鏡反転 H-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	左右を反転した画面を表示します
 180° 回転 V-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	180° 回転した画面を表示します
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：3に戻ります	

メニュー：4
(アナログ入力)



調整項目	画面の状態/調整ボタン			
入力信号切り替え Signal Select ダイレクト調整	IN1	映像をD-SUB入力に切り替えます		
	IN2	映像をDVI入力に切り替えます		
	S Video*1	映像をS ビデオ入力に切り替えます		
	Video*1	映像をビデオ入力に切り替えます		
自動調整*2 Auto Set-up ダイレクト調整	NO	メニュー画面に戻ります		
	YES	クロック、フェーズ、垂直ポジション、水平ポジションの4項目を自動で調整します		
補足	調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。(約5秒)			
フルスクリーン Full Screen	1 to 1	4 : 3のノーマル画面表示		
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示		
	フル	拡大表示		
ズーム Zoom ダイレクト調整 ダイレクト調整はリモコンのみ	Zoom In	画面を拡大します		
	Zoom Out	戻します		
	水平ポジション	ズームポイント右側へ移動 ズームポイント左側へ移動		
	垂直ポジション	ズームポイント下側へ移動 ズームポイント上側へ移動		
言語選択 Language	English	英語表示	Italiano	イタリア語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	Espanol	スペイン語表示
	Francais	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
	Nederlands	オランダ語表示	中文	中文表示
	Svenska	スウェーデン語表示	日本語	日本語表示
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります		
	YES	工場出荷設定に戻します		
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：4に戻ります			

*1 オプションビデオ入力時のみ対応します。「付録B」を参照してください。

*2 この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.22「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.14「ダイレクト調整」を参照してください。

デジタル入力時

メニュー：1
(デジタル入力)

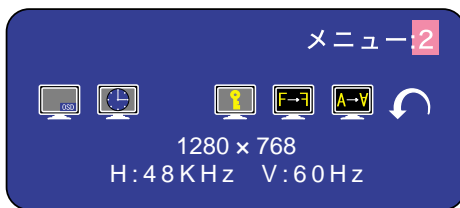



















調整項目	画面の状態/調整ボタン	
ブライトネス* Brightness ダイレクト調整	暗すぎる 明るすぎる	 または
コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる 強すぎる	 または
カラー調整 Color Temp.	9300K	やや青みがかったホワイト (約9300K)
	6500K	やや赤みがかったホワイト (約6500K)
ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル
	ハイコント	ハイコントラスト
	ダーク	ダーク
シャープネス Sharpness	1 2 3 4 5	 または
エコノミー・モード Economy Mode	オフ	ノーマル画面
	モード1	バックライトの明るさ約10%ダウン
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：1に戻ります	

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライトネスを調整してください。

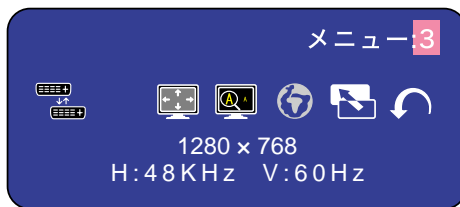
ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.14「ダイレクト調整」を参照してください。

メニュー：2
(デジタル入力)



調整項目	画面の状態／調整ボタン	
 OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5   または   または  1~5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。 	
 OSDオフタイマー OSD Off Timer	3~60秒までのOSDのオフタイマーを設定します   または   または 	
 キーロックモード Key Lock Mode	オフ オン	メニュー画面に戻ります すべての調整をロックします
補足 キーロックモードをオンすると解除できません。解除が必要な場合はサービスマンにお問い合わせください。		
 鏡反転 H-Flipping	オフ オン	ノーマル画面に戻ります 左右を反転した画面を表示します
 180° 回転 V-Flipping	オフ オン	ノーマル画面に戻ります 180° 回転した画面を表示します
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：2に戻ります	

メニュー：3
(デジタル入力)



調整項目	画面の状態/調整ボタン				
入力信号切り替え Signal Select ダイレクト調整	IN1	映像をD-SUB入力に切り替えます			
	IN2	映像をDVI入力に切り替えます			
	S Video*	映像をS ビデオ入力に切り替えます			
	Video*	映像をビデオ入力に切り替えます			
フルスクリーン Full Screen	1 to 1	4 : 3のノーマル画面表示			
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示			
	フル	拡大表示			
ズーム Zoom ダイレクト調整 ダイレクト調整はリモコンのみ	Zoom In	画面を拡大します			↑ または ↓
	Zoom Out	画面を戻します			
	水平ポジション	ズームポイント右側へ移動 ズームポイント左側へ移動			↑ または ↓
	垂直ポジション	ズームポイント下側へ移動 ズームポイント上側へ移動			
言語選択 Language	English	英語表示	Italiano	イタリア語表示	
	Deutsch	ドイツ語表示	Espanol	スペイン語表示	
	Francais	フランス語表示	Русский	ロシア語表示	
	Nederlands	オランダ語表示	中文	中文表示	
	Svenska	スウェーデン語表示	日本語	日本語表示	
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります			
	YES	工場出荷設定に戻ります			
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：3に戻ります				

* オプションビデオ入力時のみ対応します。「付録B」を参照してください。

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.14「ダイレクト調整」を参照してください。

画面の調整

アナログ入力時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- 本製品に搭載されている液晶パネルは、1280×768の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1280×768未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1280×768の解像度でを使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」にして30分以上経ってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

本製品には、画面の調整方法としてポジション、クロック、フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。

いずれも弊社ホームページ (<http://www.iiyama.co.jp>) にてダウンロードできるTest.bmp (画面調整パターン) を壁紙に登録して調整を行います。

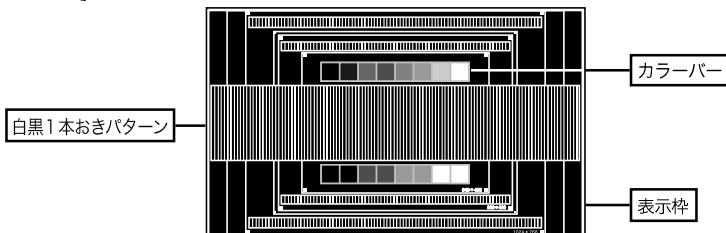
次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

- ① 調整メニューのフルスクリーンをオフにし、画面を等倍表示にしてください。
- ② Test.bmp(画面調整パターン)を壁紙に登録します。

補足

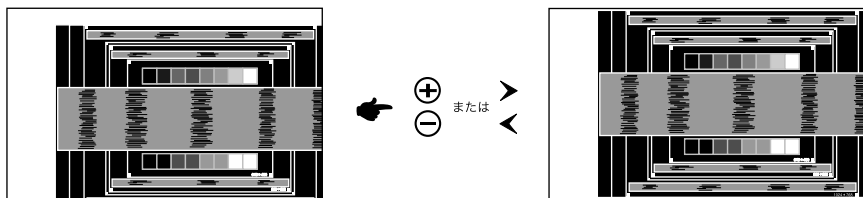
- 登録方法はお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- Test.bmpは、1280×1024のサイズで作られています。コンピュータの設定で壁紙に登録する際、表示位置を必ず「中央」に設定してください。なお、Microsoft® PLUS! 95/98をご使用の場合は、「壁紙の大きさをスクリーンに合わせて調整する」の設定を解除してください。

[調整パターン]

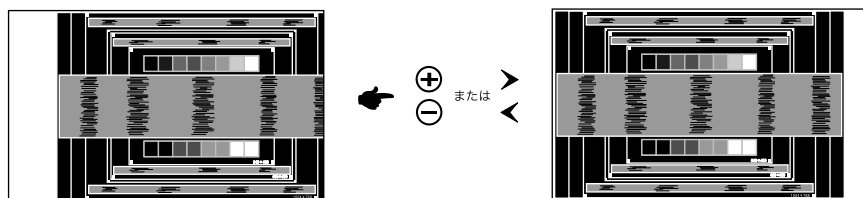


このパターンは、1280×768の解像度で表示した場合です。

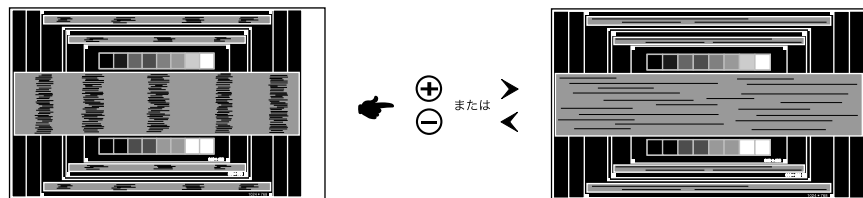
- ③ AUTOボタンを押します。(自動調整)
- ④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。
- ⑤ 調整メニューの垂直ポジションにて調整パターン(壁紙)の上下枠が表示領域に入るよう調整します。



- ⑥ 1) 調整メニューの水平ポジションにて調整パターンの左枠が表示領域の左端にくるよう調整します。

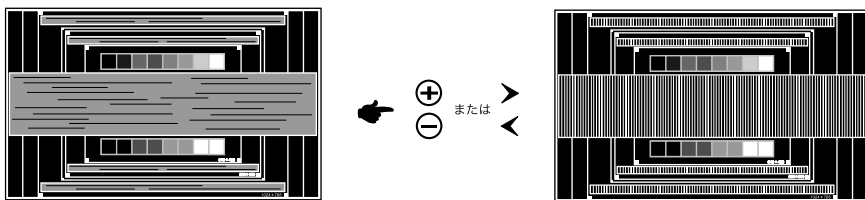


- 2) 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



- 補足**
- クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、1)と2)を交互に調整してください。
 - クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
 - クロック、水平ポジション、垂直ポジションを調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
 - クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。

- ⑦ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



補足

- フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑥からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。
- フェーズを調整中、水平ポジションがずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平ポジションにて調整してください。

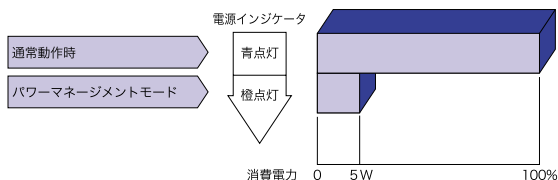
- ⑧ 最後に目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節し画面調整は完了です。お好みの壁紙に戻してください。

パワーマネジメント機能

本製品のパワーマネジメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネジメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネジメントモード(消費電力 5W以下)となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



- パワーマネジメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネジメント機能が正常に動作しない場合があります。




故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイヤマササービスセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

- ① 映像が出ない
(インジケータ点灯せず)
- 電源コードが確実に接続されていますか？
 - 電源スイッチが「ON」されていますか？
 - 電源コンセントに電気が通っていますか？別の機器で確認してください。
- (インジケータ青色)
- ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
 - 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？
 - コンピュータの電源は入っていますか？
 - 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- (インジケータ橙色)
- 
- パワーマネージメント状態ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
 - 入力信号の選択は合っていますか？入力信号切り替えを切り替えてみてください。
 - コンピュータの電源は入っていますか？
 - 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ② 画面が乱れている
- 
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
 - コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
- ③ 画面の位置が片寄っている
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ④ 画面が明るすぎる／暗すぎる
- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
- ⑤ 画面が揺れる
- 
- 電源電圧は正常ですか？タコ足配線はやめてください。
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ⑥ リモコンが操作できない
- リモコンの電池が消耗していませんか？
 - リモコンの電池の向きは正しいですか？
 - 蛍光灯などの強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？
 - リモコンとリモコン受光部の間に障害物はありませんか？

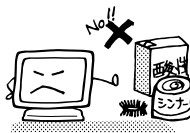
クリーニング

警告 ■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

注意 ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足 ■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

液晶パネル 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は本体お買い上げ日より1年間です。ただし、中古販売の製品については1年間の保証は適用されません。
また、液晶パネルおよび光源のバックライトの保証期限は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象にはなりません。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なお、この事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイヤマサービスセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 10の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル／廃棄については、イヤマ販売へお問い合わせください。

付録A

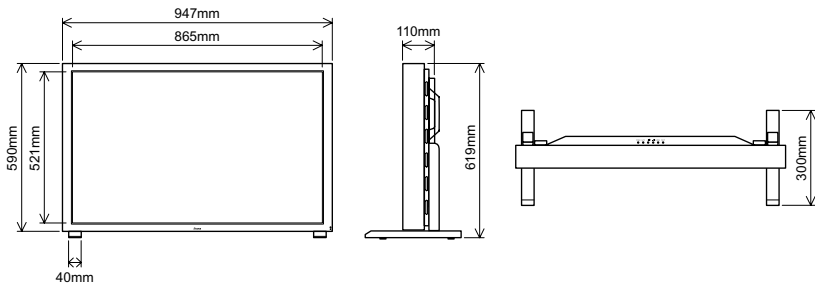
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

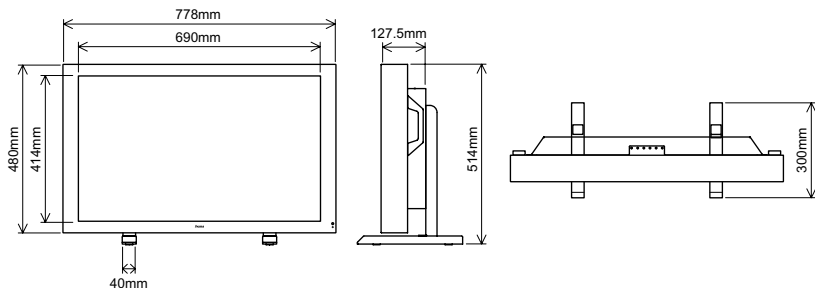
		ProLite L400W-B1X	ProLite L320W-B
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス	
	サイズ	対角：101cm/39.6"	対角：80.2cm/32"
	画素ピッチ	水平 0.6735mm×垂直 0.6735mm	水平 0.537mm×垂直 0.537mm
	輝度	500cd/m ² (標準)	
	コントラスト比	600：1 (標準)	500：1 (標準)
	視野角	上下左右各85°	
	応答速度	22ms (黒→白→黒)	33ms (黒→白→黒)
最大表示色	16,777,216色		
走査周波数	水平：31.47～60.24kHz 垂直：56～75Hz		
ドットクロック	102.98MHz (最大)		
解像度	1280×768, 1メガピクセル		
信号入力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ (アナログ) DVI-D 24ピンコネクタ (デジタル)		
制御入力コネクタ	RS-232Cコネクタ		
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™対応		
入力同期信号	セパレート同期： TTL, 正極性/負極性 コンポジット同期： TTL, 正極性/負極性 シンク・オン・グリーン： 0.3Vp-p, 負極性		
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性 デジタル：DVI (デジタルビジュアルインターフェイス規格 Rev.1.0) 準拠		
最大表示範囲	水平：862.080mm 垂直：517.248mm	水平：687.36mm 垂直：412.42mm	
入力電源	AC100～230V 50/60Hz 2.3～1.0A	AC100～230V 50/60Hz 1.94～0.84A	
消費電力	220W	180W	
	パワーマネージメントモード時 5W (最大)		
外形寸法	947(幅)×619(高)×300(奥行)mm	778(幅)×514(高)×300(奥行)mm	
重量	31kg (スタンド含)	21kg (スタンド含)	
環境条件	動作時の温度： 0～40°C 保管時の温度： -20～60°C 湿度： 85%最大(結露なきこと)		
適合規格	CE, FCC-B, UL/C-UL, VCCI-B		

外形寸法図

ProLite L400W-B1X



ProLite L320W-B



対応信号タイミング

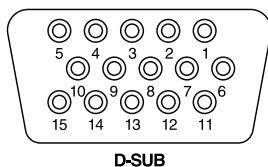
ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
	SVGA 800×600	37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
	XGA 1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
	WXGA 1280×768	44.409kHz	56.000Hz	73.895MHz
47.701kHz		60.000Hz	80.136MHz	
60.150kHz		75.000Hz	102.977MHz	
VGA TEXT	720×400	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz
Macintosh	640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz
	832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz
	1024×768	60.150kHz	74.720Hz	80.000MHz

*
*
*
*

補足 *のタイミングはDVIに対応していません。

信号入力コネクタのピン配列

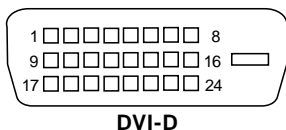
■ D-SUBミニ15ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤	9	5V in
2	緑	10	接地
3	青	11	接地
4		12	DDCデータライン*
5		13	水平同期
6	赤接地	14	垂直同期
7	緑接地	15	DDCクロックライン*
8	青接地		

*VESA DDC 規格に準拠

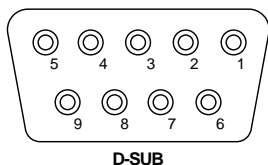
■ DVI-D 24ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	T.M.D.S Data2-	13	
2	T.M.D.S Data2+	14	+5V Power
3	T.M.D.S Data2接地	15	接地
4		16	Hot Plug Detect
5		17	T.M.D.S Data0-
6	クロックライン (SCL) *	18	T.M.D.S Data0+
7	データライン (SDA) *	19	T.M.D.S Data0接地
8	アナログ垂直同期	20	
9	T.M.D.S Data1-	21	
10	T.M.D.S Data1+	22	T.M.D.S Clock接地
11	T.M.D.S Data1接地	23	T.M.D.S Clock+
12		24	T.M.D.S Clock-

*VESA DDC 規格に準拠

■ RS-232C 9ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	NC	6	NC
2	TxD (Transmit Data)	7	NC
3	RxD (Receive Data)	8	RTS (Request To Sent)
4	NC	9	NC
5	接地		

RS-232Cインターフェイス

- ボードレート 9600bps
- データフォーマット スタート：1-bit
データ：8-bit
パリティ：0 (No Parity)
ストップ：1-bit

コマンド	コマンドネーム	ファンクション
	POF	電源をOFFにします
	PON	電源をONにします

補足 POFとPONコマンドは、20秒以上の間隔をあけてください。

プロトコル	STX(02hex)	ID(2Byte)	COMMAND(3Byte)	ETX(03hex)
			COMMAND 3Byte(ASCII)	

付録 B

オプションビデオ入力時

このメニューは、オプションビデオアダプタが取り付けられたときのみ表示されます。

アナログ/デジタル入力設定からビデオ入力へは自動的に切り替りません。メニューの入力信号切り替え、またはINPUTボタンにて切り替えてご使用ください。(パワーマネージメント時はMENUボタンを押すと入力信号切り替え画面が表示されます。)

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- ブライツネス：メニュー画面を表示していない時に、ブライツネス調整ボタン（モニタ本体またはリモコン）を押します。
- コントラスト：メニュー画面を表示していない時に、コントラスト調整ボタン（モニタ本体またはリモコン）を押します。
- 入力信号切り替え：INPUTボタン（モニタ本体またはリモコン）を押します。
- ズーム：メニュー画面を表示していない時に、ZOOMボタン（リモコン）を押します。
- 映像ロック：メニュー画面を表示していない時にAUTOボタン（モニタ本体またはリモコン）を押します。

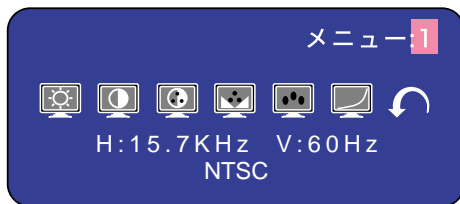
補足 ブライツネス/コントラスト調整の切り替え

ダイレクト調整中、ブライツネス調整ボタンまたはコントラスト調整ボタンを押してから約5秒以内にメニューボタンを押すと、ブライツネスとコントラストの調整画面を交互に切り替えることができます。

映像ロック

メニュー画面を表示していない時にAUTOボタンを押すと、“Now, Frame was Locked.”が表示され、画面に表示されている映像をロックすることができます。もう一度AUTOボタンを押すと解除されます。

メニュー：1
(ビデオ入力)

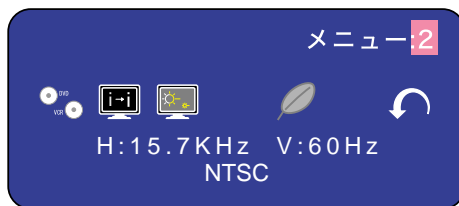















調整項目	画面の状態/調整ボタン								
ブライツネス* Brightness ダイレクト調整	暗すぎる 明るすぎる	 または 							
コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる 強すぎる	 または 							
カラー Color	色が薄い 色が濃い	 または 							
色あい Hue	色が紫がかった 色が緑がかった	 または 							
カラー調整 Color Temp.	9300K	やや青みがかったホワイト (約9300K)							
	6500K	やや赤みがかったホワイト (約6500K)							
	ユーザー	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3"> </td> <td>MENU</td> <td>Red</td> <td rowspan="3"> 弱すぎる 強すぎる または </td> </tr> <tr> <td></td> <td>Green</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Blue</td> </tr> </table>		MENU	Red	弱すぎる 強すぎる または		Green	
	MENU	Red		弱すぎる 強すぎる または					
		Green							
		Blue							
ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル							
	ハイコント	ハイコントラスト							
	ダーク	ダーク							
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：1に戻ります								

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライツネスを調整してください。

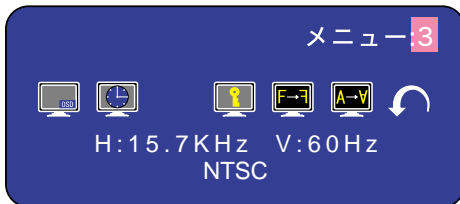
ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.31「ダイレクト調整」を参照してください。










メニュー：2
(ビデオ入力)



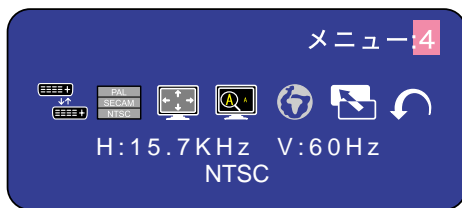
調整項目	画面の状態／調整ボタン	
 入力ソース Input Source	DVD	通常はこの設定でご使用ください。
	VCR	表示画面が曲がったり、揺れたりする場合はこの設定にしてご使用ください。
補足 接続する映像機器によっては表示画面が曲がったり、揺れたるすることがあります。その場合は設定を変更してみてください。また、TV放送や傷んだビデオテープの信号を入力した場合、正常に表示できないことがあります。		
 画質調整 Picture Quality	1 2 3 4 5	    または
1～5 (ソフト→クリア) まで設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。		
 シャープネス Sharpness	画面がボケている 画面がザラザラしている	     または
エコノミー・モード Economy Mode		
オフ		ノーマル画面
モード1		バックライトの明るさ約10%ダウン
モード2		バックライトの明るさ約50%ダウン
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：2に戻ります	

メニュー：3
(ビデオ入力)



調整項目	画面の状態/調整ボタン	
 OSD位置調整 OSD Position	<p>1 2 3 4 5</p> <p>1~5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。</p>  	
 OSDオフタイマー OSD Off Timer	<p>3~60秒までのOSDのオフタイマーを設定します</p> 	
 キーロックモード Key Lock Mode	オフ	メニュー画面に戻ります
	オン	すべての調整をロックします
<p>補足 キーロックモードをオンすると解除できません。解除が必要な場合はサービスマンにお問い合わせください。</p>		
 鏡反転 H-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	左右を反転した画面を表示します
 180° 回転 V-Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります
	オン	180° 回転した画面を表示します
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：3に戻ります	

メニュー：4
(ビデオ入力)



調整項目	画面の状態/調整ボタン					
入力信号切り替え Signal Select ダイレクト調整	IN1	映像をD-SUB入力に切り替えます				
	IN2	映像をDVI入力に切り替えます				
	S Video	映像をS ビデオ入力に切り替えます				
	Video	映像をビデオ入力に切り替えます				
放送方式 Color System	自動	放送法式を自動的に切り替えます。通常はこの設定でご使用ください。				
	NTSC	放送法式をNTSCに強制的に切り替えます。				
	PAL	放送法式をPALに強制的に切り替えます。				
	SECAM	放送法式をSECAMに強制的に切り替えます。				
フルスクリーン Full Screen	1 to 1	4 : 3のノーマル画面表示				
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示				
	フル	拡大表示				
ズーム Zoom ダイレクト調整 ダイレクト調整はリモコンのみ	Zoom In	画面を拡大します			または	
	Zoom Out	画面を戻します			または	
	水平ポジション	ズームポイント右側へ移動 ズームポイント左側へ移動			または	
	垂直ポジション	ズームポイント下側へ移動 ズームポイント上側へ移動			または	
言語選択 Language	English	英語表示	Italiano	イタリア語表示		
	Deutsch	ドイツ語表示	Espanol	スペイン語表示		
	Francais	フランス語表示	Русский	ロシア語表示		
	Nederlands	オランダ語表示	中文	中文表示		
	Svenska	スウェーデン語表示	日本語	日本語表示		
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります				
	YES	工場出荷設定に戻します				
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：4に戻ります					

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.31「ダイレクト調整」を参照してください。

オプションビデオ入力の仕様

信号入力コネクタ	RCAピンジャック S映像端子
入力映像信号	ビデオ*：NTSC, PAL, SECAM

補足 *一部対応していない方式もあります。

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターまでお問い合わせください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



植物性大豆油インキを使用しています